

講義科目 : 美学	単位数 : 2
担当 : 岡野 智子	学習形態 : 選択科目

### 講義の内容・方法および到達目標

講義の内容・方法：日本の調度や衣装には、古来様々な意匠=デザインが施されてきた。それらは四季折々の身近な花鳥風月をはじめ、物語や和歌などの古典文学などとも深い関わりをもつ。本講義では日本の美意識を象徴する意匠の成立と展開につき絵画や工芸品を通じて多方面から考察する（パワーポイント使用）。

到達目標：伝統的な意匠への知見を深め、講義毎に作品と対峙して自己の内なる感性を培い課題に表わす。その積み重ねを以て自己の美意識を豊かに築き明快に表現する力を養う。

### 授業計画

- 第1回 オリエンテーション・日本美術の成立1（縄文～平安）
- 第2回 日本美術の成立2（平安～桃山）
- 第3回 日本美術の成立3（江戸）
- 第4回 吉祥の意匠―福を招く図様―
- 第5回 桜の意匠―桜への想いとその表象―
- 第6回 涼を呼ぶ意匠―実用と装飾の出会い―
- 第7回 秋を彩る意匠―情趣と洗練の美―
- 第8回 冬を楽しむ意匠―雪の姿さまざま―
- 第9回 月次絵の楽しみ1―一年中行事と景物―
- 第10回 月次絵の楽しみ2―花鳥と風俗―
- 第11回 伊勢物語の意匠―燕子花と問えば―
- 第12回 源氏物語の意匠―留守模様遊ぶ―
- 第13回 動物の意匠―霊獣からペットまで―
- 第14回 渡来の意匠と表現1―憧れの南蛮ファッション―
- 第15回 渡来の意匠と表現2―西洋画風の影響― ※テーマ、進行は変更も有。

### 教材・テキスト・参考文献等

教科書は使用しない。参考文献は『美術出版ライブラリー 歴史編 日本美術史』（美術出版社）、『カラー版 日本美術史』（美術出版社）、『すぐわかる日本の美術』シリーズ（東京美術）、『日本美術全集』（講談社）、『もっと知りたい』シリーズ（東京美術）、「日本の意匠」シリーズ（京都書院）他。

### 成績評価方法

出欠票を兼ね、毎回講義で触れた作品の中から1点を選びコメント提出を求める。受講者は提出回数が原則として10回以上の者のみ④の提出資格が得られる。

評価は①出席点25% ②コメント内容の評価25% ③事前事後の自己学習として全国各地の展覧会等の見学レポートの提出20% ④レポート30% ※遠隔授業の場合は変更になる場合がある。

### その他

美術作品を通してその成立と魅力を知ることが、即ち自身を知ることと気づき、豊かな人間性の構築に役立ててほしい。☆授業の予習復習（上記③）：各自で美術館・博物館等で実作品を鑑賞し、見る目を養う（経費は自己負担、自己責任で実施）。さらに展覧会カードに感想をまとめ、提出することを強く推奨する。☆授業運営：オリエンテーションで重要な連絡を行う。受講希望者は必ず初回の授業に出席し、そこで提示の受講注意に同意の上、履修すること。